

「緊張するとしてもエホバを賛美できる」 (MWB20250122 宝)

0. 集会でコメントすることの大切さを理解していても簡単ではないのはなぜか？

もともとエホバの証人は心優しい内気な傾向の人が多いですか？そうかも
それで、ステージでの話しや実演に限らず、コメントすることでさえ、緊張してなかなか出来ないかも
でもどうしたらこの問題を乗り越えられる？そうした努力の目的や方法、積極的な見方について考えて

1. 目的 (エホバを賛美したい)

まず私たちが集会でコメントしようとする目的は何か？[詩 138:1] 私たちは、心からエホバを賛美したい
と思っているので、コメントに参加したいと思う

集会で行なうコメントも「賛美の犠牲」の一部です。他の人に代わりにささげてもらうことはできない自発
的なもので、決して強制されることはない。でも、エホバが集会でご自分を賛美する機会を、私たち
全てに与えてくださっていることを、忘れないようにしたい。

2. 方法 (エホバに頼る)

緊張してコメントするのが難しいと感じるとき、どうすれば良いか？

昨年 2024 年の年句: 詩編 56:3「私は恐れる時、あなたに頼る」を思い出されるかも。

[詩 138:3] 集会の前、またコメントの都度、エホバに祈り頼るなら、必ず勇気を与えてくださる。良い方法

3. 積極的な見方 (コメントに抵抗を感じるのは、控えめであり、ある意味で良いこと)

私たちがコメントに抵抗を感じたとしても、それはある意味で良いことかもしれない。なぜそう言える？
それはそう感じる私たちが控え目で謙遜であることを示しているかもしれないから。例えば、間違っ
たことを言うのではとか、あんまり仲間を励ませないとか心配してしまうのは、自分が謙
遜で、他の人が上であると考えている証拠と言える。エホバはどう見てくださる？

[詩 138:6] エホバは確かに謙遜な人を愛され、コメントに必要な勇気を与えてくださる。

4. (コメントを楽しんでエホバを一層賛美したい)

私たちはコメントへの恐れを乗り越えるだけでなく、もっとコメントを楽しんでいきたい。どうすれば？3つ

[画像願] ①短いコメントを心掛ける(緊張を和らげ、理解し易く、大勢の参加に貢献可、良事尽くめ)、

②いろいろな分野のコメントに挑戦(・聖句を読む/時に文字がぼやけて良く読めなくても諦めない、

・要点の付加的な点や適用、・復習の質問の答え、・補足的質問が意味不明でも探りのコメント)

③コメントできる特権や喜びをかみしめる(外国語会衆に参加するのと異なり、日本語でコメントできるこ
とに感謝。準備していたものでなくても聖なる力で思いついたコメントが仲間を励ますことも)

どんなコメントでも楽しみ、喜ぶことができる。[画像感謝]

私たち特に会衆組織の中で沢山の割り当てを持っている兄弟たちや、未信者の家族のお世話をしてい
る兄弟姉妹たちはとても忙しい生活を送っている。緊張する理由だけでなく、様々な理由でコメント
ができなかったり、あんまり仲間を励ませなかった、と感じることも多々あるかもしれない。

それでも、コメントすることを決して嫌いになりませんように。コメントは敵ではありませんので…
では、コメントできたり、仲間のコメントから励まされることに感謝し、引き続きエホバを賛美していく